

観光で東北を元気にします



国土交通副大臣
兼内閣府副大臣 兼復興副大臣
西村 明宏

東日本大震災から4年という節目を迎え、被災地では、まちづくりや道路・鉄道等のハード面の復興が進むなか、地域振興のためにも観光という「ソフト面」からの取り組みの加速が求められています。安倍内閣の最重要課題の一つは、我が国の経済成長、地方の創生です。観光は、国内の幅広い産業に経済効果をもたらし、多くの雇用を生み出すことから、地方創生の切り札といえ、政府・一丸、官民一体となって、観光立国に向けた取り組みを進めるところであります。

2014年には1344万人の外国人の方が日本を訪れ、旅行消費額は2年間で倍増し、2兆円を超えました。2010年2億000万人という

目標の達成に向け、また観光立国の成果を全国津々浦々まで行き渡らせるため、世界に類を見ない雪質として絶賛されるスノーリゾートをはじめとした東北の素晴らしい観光資源の活用や、宿泊期間の長い外国人旅行者を誘いリビータリにつなげる広域観光周遊ルート

の形成が重要になってきます。豊かな自然や、文化や食といった個性あふれる地域の魅力を、単に点と点で結びつけるのではなく、ストーリー・テーマによって広域でつなぐことにより、新たな魅力が創出されます。

3月1日には東北の被災地を貫く落着自動車道がいよいよ全線開通し、多くの観光客に東北を訪れていただく好機がやってきます。政府では、「東北の復興なくして日本の再生なし」といふスローガンのもと、今後とも復興支援や地方創生に全力を挙げ、東北の皆様が力を結集し、オール東北で世界に誇れる魅力ある観光地を目指す取り組みを応援していきます。ぜひとも、多くの皆様に東北を訪れていただき、東北の魅力を感じていただきたいと思います。

いまこそ必要な「観光の力」



震災前の活気を取り戻すため注目されているのが「観光の力」だ。地元の人と交流し、地域の特産物を楽しむ。旅を楽しむことが、被災地を活性化し、復興に果たす観光の役割もついでに、日本旅行業協会（JATA）の田川博己会長や宮城県村井嘉浩知事らが語り合った。

「お宝発掘」が観光資源に

唐橋 東北のどんな魅力をアピールしたいですか。

村井 たとえば4月は、桜前線が東北地方を北上します。南から福島、三春滝桜、宮城の巨川堤の一日十本桜、山形の鶴岡公園の桜、秋田の角館のしだれ桜、岩手県の盛岡城跡公園の桜、青森の弘前公園の桜と桜が咲き誇ります。花見を楽しみながら、古くからの歴史が詰まった東北



宮城県 / 復興道路 三陸沿岸道路（奥三陸町）建設状況

被災地では人口が減少しています。そこで期待されるのが、交通入りの増加つまり観光による経済活性化なのです。

田川 観光が持つ力をフルに使える雇用増加など、大きな経済効果が見込めます。日本国内における観光がもたらす生産波及効果は、4.7兆円との試算もあります。この力を震災の時に使わいて、いつ使うでしょう。東北地方は、まさに観光の宝庫です。ただ、皆さん発信力がやや弱いので、伝わらないのかも



宮城県 大河原町 / 一日十本桜

唐橋 力を語らぬという東北の気質なのが、自らの魅力を発信するのが苦手なはず。

田川 特に急増している外国人観光客には伝わりにくいですが、冬の北海道は外国人でも人気ですが、冬の東北はまだまだなのかもしれません。



岩手県 田野畑村 / 北山峠

唐橋 まだまだ宝が眠っているんですね。

田川 東北のすべての場所が観光地となる魅力を持っています。特に外国人観光客は、我々も知らない路地裏みたいな場所の魅力を発見してみたい。そういうお宝を掘り起こしていくことが大切です。

唐橋 ます、東北を訪れていただくため、ドイツの「ロマンチック街道」のような広域的な観光ルートを作り上げていく必要があると思います。地域の鉄道やバス会社、高速道路会社などに協力していただき、2015年、新しい東北を示すようなルート作りが必要です。

唐橋 さきほどのツアー参加者も「地元の人たちと地元言葉での交流が、なによりうれしかった」と話していました。東北が「たまたま」お帰りの言いえるような場所になればいいと思っています。

田川 東北の復興なくして、日本の再生はありえません。復興も新たなステージを迎えました。日本旅行業協会としても支援を続けていきます。

村井 いま、被災者が一番心配しているのは、震災の記憶が風化して東北が忘れられてしまわないかということです。福島県4、6月に「3.11」をテーマにしたイベントを開催します。この機会に被災地足を運び、交流を深めてもらいたいと思います。また、東北の中でも互いに足を運ぶことがそれぞれの地域の元気につながると考えています。

唐橋 読者の皆さんもぜひ東北へお越しください。

東北が復興する様子をぜひ体感しに来てください

ツアーを企画したところありません。観光パンフレットにも載らないような所で、「祇園の神」という地元の方がワラなどを燃やして無病息災や五穀豊穡などを願う催しを見学したのですが、参加者はみな感動していました。

田川 それは生活文化だからですね。決して観光のためではなく、何百年と長い間受け継がれてきたものが、人を感動させます。生活文化を見るということこそ、旅の醍醐味です。



宮城県知事
村井 嘉浩氏

1984年防大卒業、陸上自衛隊東北方面隊空挺（現リリアン）に入隊。その後、92年陸下駐屯隊入隊、95年から空挺隊隊長を務め、2006年から防衛副官に就任。現在3期目前。

ご存知ですか？
観光庁の東北復興事業

様々な

- 旅行の促進
 - 復興ツアーの促進
 - 地域の観光資源の掘り起こし
- 地域情報の発信
 - ポータルサイト「東北物語」による情報発信
<http://tohoku-monogatari.org/>
こころ、むすぶ。
- 震災記憶の風化防止
 - 震災語り部ガイドの活動支援
 - 教育旅行の促進

東北物語
大々々 地域 自然 ひとつらね (むすぶ)

東北太平洋沿岸13地域の観光振興を支援

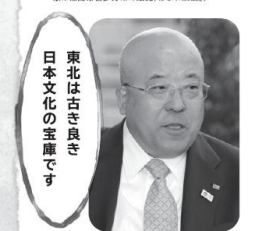
八戸ゾーン 久慈ゾーン みやこゾーン 釜石エリア 大船渡・陸前高田エリア 気仙沼ゾーン 南三陸エリア 石巻・女川 東松島エリア 松島ゾーン 仙台ゾーン 宮城・南相馬 沿岸エリア 相馬・南相馬エリア いわきゾーン



東北を皆さんの「第一の故郷」に

フリーキャスター
唐橋 ユミ氏

読売女子大卒、テレビ朝日編成アナウンサーを経てフリーに。TBSの情報番組「サンデーモーニング」など、テレビ・ラジオに出演。現在は福島県多岐方町の観光「はまれ満」。



東北は古き良き
日本文化の宝庫です

日本旅行業協会（JATA）会長
田川 博己氏

1971年慶応義塾大学、日本交通公社（旧JTB）入社。米国法人副社長、専務、社長を経て、2014年8月から同社社長に就任するとともに、日本旅行業協会会長に就任。

新たなステージの東北を体感！

唐橋 福島の奥会津を訪れるバス